

がん治療と漢方薬について

はじめに

がん治療、特に抗がん剤治療の副作用で辛い思いをされている方が多くおられると思います。

漢方薬が、がん治療に用いられていることをご存知でしょうか？

そこで今回は、がん治療の中で使われる漢方薬を①抗がん剤の副作用対策として使われるもの、②体力をつけてくれるもの、③諸症状(がん以外にも風邪なども含めます)を改善・予防してくれるものの3つのグループに分けて紹介します。



1. 副作用対策に使われる漢方薬

半夏瀉心湯 : 嘔気・嘔吐, 下痢に対して効果があるとされています。

※下痢を起こしやすい抗がん剤: イリノテカン(カンプト)、フルオロウラシル(5FU)、パクリタキセル、ドセタキセル(タキソテール) など

小柴胡湯 }
黄連解毒湯 } 口内炎・舌炎に効果があるとされています。

桂枝茯苓丸 : LH-RH アゴニスト製剤(リュープリンなど)によるのぼせに効果的です。

麦門冬湯 : 口渇・口の中の乾燥に対して使われることがあります。

補中益気湯 }
十全大補湯 } 全身倦怠感・食欲不振・がんの痛みに対して効果があるとされています。
人参養栄湯 }

☆十全大補湯には骨髄抑制(白血球減少など)に対しても効果があるとされています。

大建中湯 }
麻子仁丸 } 便秘を改善します。

※便秘を起こしやすい抗がん剤: ビノレルビン(ナベルビン)、ビンクリスチン(オンコビン) など

芍薬甘草湯 : しゃっくり、パクリタキセルにより引き起こされる筋肉痛、関節痛に効果があるとされています。

牛車腎気丸 : タキサン系抗がん剤(パクリタキセルなど)による手足のしびれ、痛みなどの末梢神経障害、かゆみに効果があるとされています。

2. 体力をつけるための漢方薬

- 補中益気湯 : 精神的なストレスがある, 気持ちが落ち込んでいる方に。
十全大補湯 : 気力に加え体力も低下した方に。
人参養栄湯 : 体力が消耗しており, 息苦しいなど呼吸器症状のある方に。



3. 症状を改善・予防するための漢方薬

- 大建中湯 : 手術後の合併症・イレウス(腸閉塞)を予防します。
葛根湯 : 風邪の初期に飲むことで症状を改善します。
麦門冬湯 : 乾性咳嗽(痰を伴わない咳)を改善します。
当帰芍薬散 } 冷えを改善し血液の流れをよくします。
当帰四逆加呉茱萸生姜湯 }



漢方薬 Q&A

Q. 漢方薬には副作用がないと聞いたことがありますか？

A. それは**誤解**です！！



一般的に漢方薬には副作用がなく、安全だというイメージがあります。しかし、漢方薬にも他の薬と同じように痒み, 発疹, 食欲減退, 下痢, 便秘, また重篤なものでは肝機能障害や間質性肺炎といった副作用が起こることもあります。副作用がないものではないことを理解のうえ、飲み方をきちんと守り正しく服用することが大切です。

Q. 漢方薬の飲み方を教えてください。

A. できれば食事の1時間前や食間(食後2時間)に飲んで下さい。また、味や匂いが気になる方は、ぬるま湯で飲むか熱いお湯に溶かすこともお勧めします。

Q. 寝る前に漢方薬を飲んでもいいですか？

A. 漢方薬の中には興奮しやすくする成分が含まれているもの(葛根湯, 小青竜湯など)もありますが、一般的には問題ありません。

Q. 漢方薬は胃腸の弱い人に向いていますか？

A. 胃腸の強い弱いに関係なく、症状や体質の改善を目的として処方された漢方薬が身体に合っていないなければ、胃腸に負担をかけることがあります。

